

グローバル・カレンダーと注目ポイント (6月24日号)

グローバル・カレンダー〈政治・経済イベントと経済指標〉

注目ポイント!

- 世界的に原料高や供給網の混乱が続くなか、日本国内では外国為替の円安の影響もあり輸入品の調達コストが高騰しています。これまで海外から安価な食材を調達して低価格の商品を提供してきた小売り・外食産業は、輸入原料を国産に切り替える動きを見せているようです。
- 日本で上場企業の2023年3月期の配当総額が2年連続で過去最高となる見通しです。東証の調査によると上場株式の約2割を個人投資家が保有し、単純計算で約2兆8000億円が個人に配分されることになるようです。

月	火	水	木	金
6/27	28	29	30	7/1
中 5月工業企業利益 米 5月耐久財受注	米 6月CB消費者信頼感指数	日 5月小売売上高 独 6月CPI ユーロ圏 5月マネーサプライM3 米 1-3月期GDP確報値	日 5月住宅着工件数 日 5月鉱工業生産 中 6月製造業PMI 米 5月PCEデフレーター	日 日銀短観6月調査 日 6月東京CPI 中 6月財新製造業PMI ユーロ圏 6月CPI 米 6月ISM製造業指数
4	5	6	7	8
独 5月貿易収支	日 5月毎月勤労統計 豪 政策金利 中 6月財新サービス業PMI	ユーロ圏 5月小売売上高 米 6月ISM非製造業指数 米 FOMC議事録	日 5月景気動向指数 日 6月東京オフィス空室率 中 6月外貨準備高 独 5月鉱工業生産 米 5月貿易収支	日 6月景気ウォッチャー調査 米 6月雇用統計
11	12	13	14	15
日 5月機械受注 日 6月マネーストックM2 OECD景気先行指数	日 6月国内企業物価指数 独 7月ZEW景況指数	中 6月貿易収支 ユーロ圏 5月鉱工業生産 英 5月鉱工業生産 米 6月CPI 米 地区連銀経済報告		日 5月第3次産業活動指数 中 4-6月期GDP 中 6月鉱工業生産 米 7月NY連銀製造業景気指数 米 6月小売売上高 米 7月ミシガン大学消費者マインド
18	19	20	21	22
日 海の日	米 6月住宅着工件数	中 ローンプライムレート 英 6月CPI 米 6月中古住宅販売件数	日 日銀金融政策決定会合結果発表 日 6月貿易収支 インドネシア 政策金利 ユーロ圏 ECB理事会	日 7月製造業PMI 日 6月全国CPI ユーロ圏 7月製造業PMI 英 6月小売売上高

こんな予定も!

6月27-29日	ECBフォーラム (ポルトガル・シントラ)
6月29-30日	NATO首脳会議 (スペイン・マドリード)
7月1日	チェコがEU議長国に就任
7月1日	香港の中国返還25周年
7月7-8日	G20外務相会合 (インドネシア・バリ島)
7月9日	中国、6月CPI、PPI
7月9-15日頃	中国、6月マネーサプライM2
7月10日	日本、参議院議員選挙投票

(注) 日程は資料作成時点のものであり将来変更されることがあります。

(出所) 各種資料より岡三アセットマネジメント作成

(作成: マーケティング部)

〈本資料に関してご留意いただきたい事項〉

■本資料は、投資環境に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、特定のファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

皆様の投資判断に関する留意事項

【投資信託のリスク】

投資信託は、株式や公社債など値動きのある証券等（外貨建資産に投資する場合は為替リスクがあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。従って、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。

【留意事項】

- 投資信託のお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要性が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込みの受付が中止となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性があります。
- 投資信託の収益分配は、各ファンドの分配方針に基づいて行われますが、必ず分配を行うものではなく、また、分配金の金額も確定したものではありません。分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻りに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

【お客様にご負担いただく費用】

- お客様が購入時に直接的に負担する費用
購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限3.85%（税抜3.5%）
 - お客様が換金時に直接的に負担する費用
信託財産留保額：換金時に適用される基準価額×0.3%以内
 - お客様が信託財産で間接的に負担する費用
運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担：純資産総額×実質上限年率2.09%（税抜1.90%）
 ※実質的な負担とは、ファンドの投資対象が投資信託証券の場合、その投資信託証券の信託報酬を含めた報酬のことをいいます。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
- その他費用・手数料**
- **監査費用**：純資産総額×上限年率0.0132%（税抜0.012%）
 ※上記監査費用の他に、有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産から間接的にご負担いただく場合があります。
 （監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額若しくはその上限額又はこれらの計算方法を示すことはできません。

【岡三アセットマネジメント】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社
 事業内容：投資運用業、投資助言・代理業及び第二種金融商品取引業
 登録：金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第370号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会

上記のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。各費用項目の料率は、委託会社である岡三アセットマネジメント株式会社が運用する公募投資信託のうち、最高の料率を記載しております。投資信託のリスクや費用は、個別の投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に、個別の投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」の【投資リスク、手続・手数料等】をご確認ください。

＜本資料に関するお問合わせ先＞

フリーダイヤル **0120-048-214**（9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く）